



6月は雨の季節です

緊急時には早めの避難を！！

災害時に落ち着いて行動するためには、事前の備えが大切です。避難のタイミングや避難方法などを確認しておきましょう。

問危機管理室 ☎086-803-1082

警戒レベル

4

避難指示で必ず避難！ 避難勧告は廃止になります

住民が災害発生の危険性の高まりに応じてとるべき行動を、直感的に理解できるよう、防災情報を5段階の警戒レベルにより提供しています。このたび、災害対策基本法の改正により、5段階なのは変わりませんが、避難情報の内容が変更になることになりました。

これまでの避難情報等	警戒レベル	新たな避難情報等
災害発生情報 (発生を確認したときに発令) ・避難指示(緊急) ・避難勧告	5	緊急安全確保 ※1
		<警戒レベル4までに必ず避難！>
避難準備・ 高齢者等避難開始	4	避難指示 ※2
大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁発表)	3	高齢者等避難 ※3
早期注意情報 (気象庁発表)	2	大雨・洪水・高潮注意報(気象庁発表)
	1	早期注意情報(気象庁発表)

※1 警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状態です。警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはけません。

※2 避難勧告は廃止されます。これからは、警戒レベル4避難指示で危険な場所から全員避難しましょう。

※3 避難に時間のかかる高齢者や障害のある人は、警戒レベル3高齢者等避難で危険な場所から避難しましょう。

避難所での新型コロナウイルス感染防止のためにご協力ください。

- * 親戚や友人宅などへの避難もご検討ください。
- * マスクや除菌シート、体温計の持参にご協力ください。
- * 各自で、手洗い・咳エチケットなどの基本的な感染予防対策の徹底に努めてください。

避難所に各自必要なもの(水・食料など)をできるだけ持参してください

平素から、命を守る「もしもの備え」は、できていますか？

◆家族との連絡方法・避難場所の確認などの話し合い

◆家の中の安全確保

家具の固定、出入り口や通路には物を置かないなど、日頃から家の中の安全対策を進めましょう。

◆非常時持ち出しリスト

両手の自由が利くリュックサックや燃えにくい袋などに入れて、すぐに持ち出せる場所に置いておきましょう。

◆住んでいる場所の確認

お住まいの地域の特性や避難場所情報、土砂災害警戒区域の情報を、ハザードマップもしくは市HP「岡山市地図情報」で確認しておきましょう。

◆家庭内備蓄

災害発生から3日(できれば1週間)分を用意。家族構成にあったものを準備し、一人一人が災害への備えを万全にしましょう。

食品



調理不要や簡易な調理のできるものを中心に缶詰、ドライフーズ、インスタントラーメン、切り餅、チョコレート、キャラメル、レトルト食品、アルファ化米など

水



飲料水は1人1日3リットルが目安。生活用水は風呂の水を残しておくことで利用できる

生活用品

毛布、洗面用具、トイレトペーパー、使い捨てカイロ、ビニール袋、古新聞紙、キッチン用ラップ、簡易トイレ、鍋、バケツ、ブルーシート、紙オムツなど

燃料・工具類

カセットコンロ、ガスボンベ、固形燃料など

災害時には「情報」が大切

テレビ



「おかやま防災ポータル」の情報
NHK総合岡山1
【防災・生活情報】

データ放送 (NHK)

市から発信する防災情報、避難関連情報を見ることができます。

【利用方法】NHK総合にチャンネルを合わせ、リモコンの「dボタン」を押す。

携帯電話・スマートフォン

緊急速報メール (エリアメール)

対応する携帯電話やスマートフォンへ、特定エリアごとに直接、災害・避難情報を一斉発信します。

岡山県メール配信サービス (おかやま防災情報メール)

警報や河川水位・雨量などをリアルタイムで配信しています。

【登録方法】①QRコードから空メールを送信②返信された登録用メールの案内に従って配信希望の項目を返信



岡山市メール配信サービス (岡山市防災メール)

避難情報・気象情報などを配信しています。日本語のほか12か国語に対応しています。

【登録方法】①QRコードから空メールを送信②返信された登録用メールの案内に従って配信希望の項目を返信



岡山市公式LINE

【登録方法】①友だち追加からQRコードを読み取って登録



インターネット (パソコン、スマートフォン)

おかやま防災ポータル

県内の気象情報、雨量情報、土砂災害危険度情報、河川水位情報、河川カメラ情報などがリアルタイムに確認できます。避難指示などの防災情報も発信します。



おかやま防災ポータル 検索

ラジオ

停電時やインターネットが繋がりにくい場合、最も情報を得やすく、災害時に役立つ機能を持ったタイプもあります。

避難の流れ (台風・大雨の時)

台風・大雨の予報



情報を収集する

大雨注意報 氾濫注意報情報

災害が起こる恐れがある場合、注意を促すために発表。

テレビや携帯電話で気象情報や避難情報を小まめに収集し、災害発生の危険性が高まる前に、安全な場所へ早めに避難を！

大雨警報 氾濫警戒情報

重大な災害が起こる恐れがあるときに警戒を促すために発表。

高齢者等避難

土砂災害警戒情報 氾濫危険情報

避難指示

ただちに避難

最大級の警戒を！

大雨特別警報 氾濫発生情報

緊急安全確保

立ち退き避難

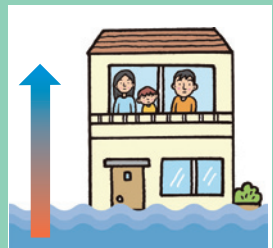
浸水区域や土砂災害警戒区域外にある安全な場所に速やかに避難しましょう。

避難指示などが発令されていない場合でも、地域によっては危険が迫っている場合があります。発令を待たずとも、自主的に避難をしてください。

立ち退き避難以外にも避難です！

屋内安全確保 (垂直避難など)

土砂災害や水害の恐れがある場合、立ち退き避難が基本ですが、避難場所に行くのが危険な場合は、2階以上の山側から離れたところなど少しでも安全な場所に避難しましょう。



例えばこんなとき

- ・夜間で視界が悪いとき
- ・自宅周辺がすでに浸水しているとき
- ・豪雨で野外移動するとさらに危険なとき など

屋外の状況や時間帯で判断し、適切な行動を！